

千呂露-Tirol-

私たち自身の新しい生活様式を考えよう



新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、政府や各都道府県知事、医療関係者や地域の人たちなどいろいろな人がたいへんな努力をしてきました。その甲斐もあってか、緊急事態宣言は解除されることになりました。しかし、「密閉」、「密集」、「密接」を避ける生活はまだまだ続けなければいけないでしょう。私たちにウイルスを見つけられる特別な目があるなら別ですが、そんなものはありません。見えない以上は、できるだけ安全な生活様式を考えるべきでしょう。安全な生活を送るために、あなたは何をしますか？と聞かれてすぐに答えられるような、そんな心掛けを持ってはどうでしょうか。

少なくとも3年生は進学・就職の面接で、自粛期間中にどんなことに気がつけたかと尋ねられても答えられるようにしておかなければなりません。これから何度だって言いますが、「備えあれば憂い無し」です。備えておけば良かったと、後悔してももう遅いなんていうことにならないようにしましょう、特に3年生諸君は！

今年から進学が変わります

大学・専門学校への進学形式は、次のようになります。

- (1) AO入試 → 総合型選抜(そうごうがたせんぱつ)
- (2) 推薦入試 → 学校推薦型選抜(がっこうすいせんがたせんぱつ)
- (3) 一般入試 → 一般選抜
- (4) センター → 大学入学共通テスト

各大学や専門学校のなかには、すでにHPに詳細を載せているところもあります。(1)についてはAOという言葉を残している学校もありますが、これまでの「出願書類・面接」のみで判断するものから、加えて小論文や科目試験など様々な評価方法を導入する(総合的に判断する)形式になっています。早いところは6月からエントリー(←出願という意味)が始まります。1・2年生で進学を希望する人は、行きたい学校のHPを見ることをオススメします。情報を制するものは世界を制する！

短期連載「進路面接に思うこと」

第1回<全4回> 面接はキャッチボール

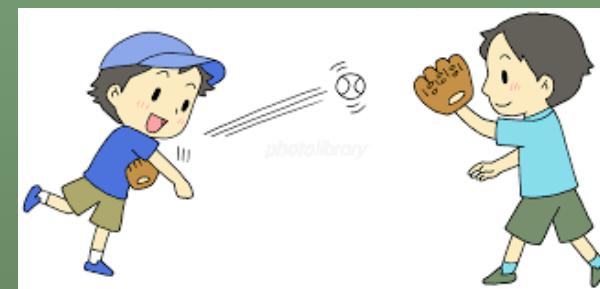
ここでは進路面接で大切なことを紹介していきます。ところで皆さんはキャッチボールをしたことがありますか。2人以上でグローブをつけて、ゴムボールや軟式野球のボールを投げ合う運動のことです。ボールを投げる時は、相手が取りやすい場所へ、取りやすいスピードで投げます。速すぎたりバウンドさせすぎたり、変なところに投げたりすると相手は捕れなかったり時間がかかったりします。大体、どこに投げてくるのかは分かっているのですから、捕るのも簡単ですし、返し方も簡単ははずです。

このキャッチボールは、面接の質問と答えにとてもよく似ています。例えば「あなたの長所と短所は何ですか」というボールが来たとき、あなたはどんなボールで投げ返すでしょうか。

言いたい長所がたくさんあって、3つも4つも言ってしまうと、相手は捕れるでしょうか。1つで十分です。逆に、短所を言いたくなくて言わなかったら相手は戸惑いますね、ボールが来ないんですから。

また、具体的に簡潔な説明をつけるのも大切です。「長所は明るいところですよ」で、相手は納得するでしょうか。みんなたいてい明るいんです。先に、どう明るいのかを言うべきです。なぜなら、「どういうところが明るいんですか」と余分な質問をされるかもしれないからです。

面接は長くて20分、短くて10分ありません。その限られた時間で、どれだけスムーズな言葉のキャッチボールができるかが勝負なのです。投げかけられたボールをキャッチして、分かりやすいボールで答える、これも皆さんが当然求められるコミュニケーション能力の1つなのです。



5月・6月の進路行事

5月29日(金) 模擬面接(3年) ※制服登校

6月12日(金)、19日(金)

生活体験発表原稿作成

※自分を振り返って文章にすることは、進路活動(特に小論文)に当然役立つものです!

1年生はとりあえず枚数に達するように書こう!

2年生は昨年の経験を活かした文章を書こう!

3年生はこれまでの集大成となるようなものを仕上げよう!